

展望台下斜面のヘメロカリス

メルヘン活動の1つとして花いっぱい運動を進めていますが、展望台下の斜面地に黄色や赤オレンジ色の花が今年はたくさん見られます。ヘメロカリスという園芸品種の花です。東アジア原産の品種を改良して作られました。日本固有種では、キスゲやカンゾウがあり、ワスレナグサ科の植物です。

これまで目立たなかったのは、ススキやオギといった2mほどに成長するイネ科の植物に覆われて見にくくなるためでした。今年は管理作業の順序を変えて、葉を出し始めたヘメロカリス周辺の草刈りで見やすくなりました。



7月に入り、オギなどの植物がかなり成長してきましたが、ヘメロカリスも頑張っけて顔を出しています。



咲き始めたころは、左側の写真にある赤とオレンジ色のツートンで、園芸品種だと言わんばかりの派手な花ばかりでした。しかし、黄色1色の花も咲き出すと、公園の斜面にふさわしい彩になったように感じます。



これらの花は一日花と呼ばれていて、1日で萎れてしまいます。しかし、それぞれの株には30前後の蕾が付いているので咲き続けているように見えます。ヘメロカリスは宿根性の植物で、日本の気候にも適した強い品種なので、毎年楽しませてくれます。メルヘン活動の一環として進めている花いっぱい運動にとっては最適な植物と言えます。8月いっぱいには楽しめるので、7月中にもう1度草刈り作業を行いたいと思います。